

令和7年度決算認定

令和8年第3回定例会を9月8日から11日までの4日間の会期で開きました。

9月定例会は決算議会でもあり、令和7年度の一般会計及び特別会計、下水道事業会計の決算を審議し、全て原案のとおり認定しました。

令和7年度決算のあらまし

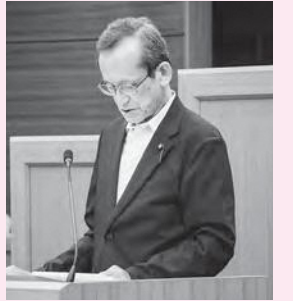
決算審査報告・審査意見

各会計の歳入歳出決算等は正確なものと認め、予算の執行についても、適正かつ効率的に行われていると認めました。町の財政状況は、広野火力発電所の固定資産税大規模償却資産分への依存度が依然として高い状況にあります。財政力を示す指標である財政力指数は、令和7年度は1.125となり、普通交付税が交付されない不交付団体となりました。

令和8年度以降、広野IGCCパワー合同会社に係る固定資産税大規模償却資産分は毎年逓減する税収であることを鑑み、令和7年度に実施した施策の結果を検証するとともに、町民のための優先事業等を見極め、さらなる財政の健全化を図る必要があると思います。

国民健康保険や介護保険特別会計の給付費は、依然として高い水準で推移しており、引き続き特定健康診査の受診率の向上に努めていただくとともに、高齢者の疾病の早期発見、適正医療による重症化防止により、歳出の節減に努めるよう要望します。

公共下水道事業は、住民の良好な生活環境の維持と公共用水域の水質保全という重要な役割を担う公共インフラであることから、今後も厳しい財政状況が予測されますが、引続き計画的な施設整備や処理場経費等の削減、定期的な料金体系の見直しなど、健全経営に向け努められ、一般会計からの負担金を極力減らすよう努めることを要望します。

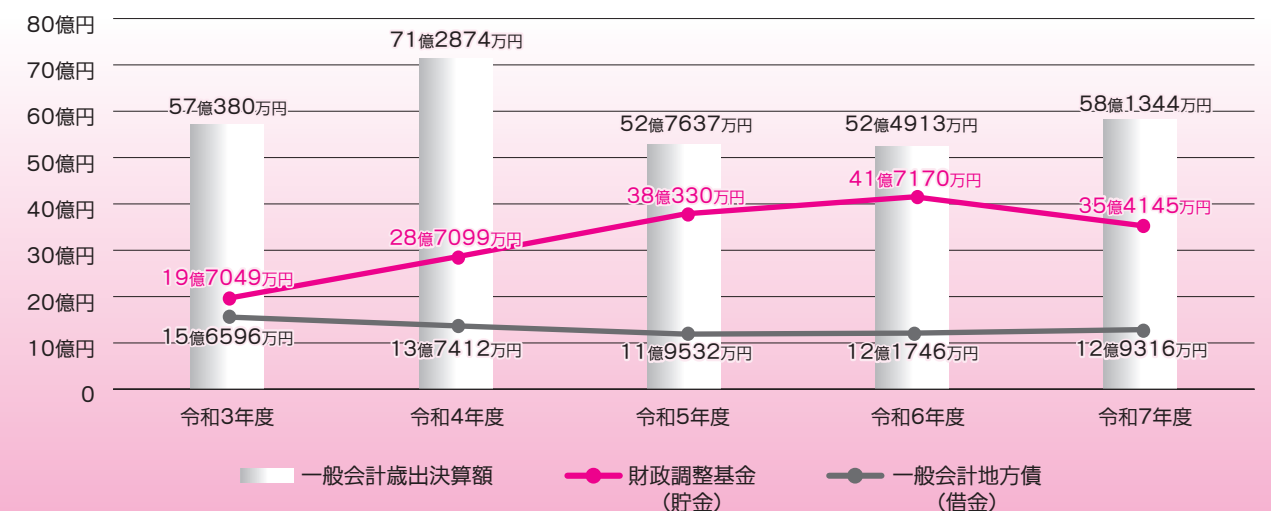


針生 寛美
代表監査委員

一般会計算出決算・貯金と借金の推移

歳入 64億5862万円（前年度比12.2%増）

歳出 58億1344万円（前年度比10.8%増）



令和7年度決算 各議員の評価・提言 つなげよう！令和9年度予算編成へ

令和7年度の町政運営を各議員はどう評価したのか、決算審議を通して令和9年度予算編成に向けた提言や期待することなどをお伝えします。

西本 久雄 議員

令和7年度決算を踏まえ、これまでの事業を続けるだけでなく、その成果と課題を確認することが大切です。町民の暮らしへの効果と将来負担を見極め、限られた財源を本当に必要な取組へ生かす令和9年度予算としていただきたいと思います。

同じ賛成でも、議員の視点は様々です。



渡邊 正俊 議長

渡邊 忠義 議員

広野町の健全化判断比率は、基準値内でありました。私たちの町は、不交付団体であり地方交付税を受け取る必要がないほど、財政的に自立している自治体であります。今後は火力発電所に依存しない税収の改善が必要だと思います。

高木 光雄 議員

火力発電所の固定資産税減収が見込まれる中、財政調整基金の繰入れに頼る財政運営の見直しが必要です。前例踏襲を改め、事業の必要性や優先度を検証し、将来を見据えた効率的で持続可能な予算編成を望みます。

西内 玄太 議員

令和7年度予算の適切な執行を確認しました。今後、固定資産税の減収が見込まれる中、既存事業の見直しを進め、教育や子ども・子育てなど、将来につながる施策へ予算を重点的に配分する必要性を感じました。

北郷 伯弘 議員

都市と農村の関係は変化している。少子高齢化、担い手不足が進む。農地が荒れれば、農家だけの問題にとどまらない関係を整理する見方、考え方がある。地域同士の支え合い。同じ地域の中での循環を区別して捉える視点である。政策の中で支払費の増額を強く望みます。

遠藤 浩 議員

町は財政難の状況にあっても、国・県の支援金と自前の投資資金を効果的に組み合わせ、将来の成長を見据えた積極的な施策を展開していただきたい。

門馬まりえ 議員

新給食センターが完成し給食提供が開始されました。1日1食でも小、中学校9年間の塩分やバランスを考えた食事に接することで児童、生徒に味覚がしっかりと残り、将来の健康づくりにつながっていければと考えています。